

## 船舶事故調査報告書

平成28年10月20日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 庄司邦昭（部会長）  
 委員 小須田 敏  
 委員 根本美奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年6月7日 14時00分ごろ
発生場所	熊本県上天草市湯島北岸 三角灯台から真方位259° 5.6海里（M）付近 （概位 北緯32° 36.4′ 東経130° 20.1′）
事故の概要	遊漁船魁王丸は、東北東進中、乗り揚げた。 魁王丸は、プロペラ翼に曲損等を生じた。
事故調査の経過	平成28年7月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	遊漁船 魁王丸、4.1トン KM3-70169（漁船登録番号）、個人所有 10.43m（Lr）×2.62m×0.84m、FRP ディーゼル機関、279kW、平成12年1月17日 第293-34483号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長 男性 45歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成2年4月26日 免許証交付日 平成27年1月26日 （平成32年4月25日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	右舷中央部外板及び船尾船底に破損、プロペラ翼に曲損等
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮流 約2ノット(kn)の南西流
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、釣り客1人を乗せ、熊本県天草市通詞島北方沖での釣りを終え、熊本県宇城市三角岳を針路目標とし、三角港に向けて帰途についた。 船長は、操舵室内の操縦席上に立って天窓から上半身を出し、遠隔操縦装置を使用して、島原湾を約18knの対地速力で手動操舵により東北東進していたところ、湯島まで約200mのところ眠気を感じたが、軽い眠気であったので居眠りすることはないだろうと思い、同じ姿勢で見張りを続けた。

	<p>本船は、船長が釣り客の呼び声で目が覚めて船首方を見ると、湯島北岸に向けて接近していたので、慌てて左舵を取って離れようとしたものの、間に合わず、平成28年6月7日14時00分ごろ、船首が北東方を向いたところで右舷船尾部が付近の岩場に乗り揚げた。</p> <p>本船は、船長が海上保安庁に本事故発生を通報した後、満潮時に友人の船で引き出され、えい航されて帰港した。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図、写真1 本船の損傷状況(右舷側)、写真2 本船の損傷状況(船尾側) 参照)</p>
その他の事項	<p>本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約1.2mであった。</p> <p>船長は、6月6日22時ごろ就寝して7日04時ごろ起床し、睡眠を十分にとっており、遊漁中も適宜休息をとっていたので疲れ等は感じておらず、また、薬等も服用していなかった。</p> <p>船長は、帰路の半分過ぎに当たる湯島に近づき、前路に他船もない上に単一の針路であったので、気が緩んでいたと本事故後に思った。</p> <p>船長は、日頃、眠気を感じた際には、体を動かしたり、水を飲んだりして居眠りを防止していた。</p> <p>船長は、南西流の潮流がある場合、湯島北岸沖から西岸沖にかけて反時計回りの潮流が生じるので、日頃から湯島西岸付近を通過する際には、左方に当て舵を取って航行していた。</p>
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	あり なし あり <p>本船は、島原湾を湯島北岸沖に向けて東北東進中、船長が居眠りに陥ったことから、湯島北岸に向かう態勢で航行していることに気付かず、同島北岸に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、海上が平穏で、帰路の半分過ぎに当たる湯島に近づき、前路に他船もない上に、単一の針路であったことから、気が緩んで覚醒水準が低下し、居眠りに陥った可能性があると考えられる。</p> <p>本船は、風潮流に圧流されたことから、湯島北岸に乗り揚げた可能性があると考えられる。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、本船が、島原湾において、湯島北岸に向けて東北東進中、船長が居眠りに陥ったため、湯島北岸に向かう態勢で航行していることに気付かず、同島北岸に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・操船中に眠気を催した際には、体を動かすなどして居眠り防止に努めること。</li> </ul>

付図1 事故発生経過概略図

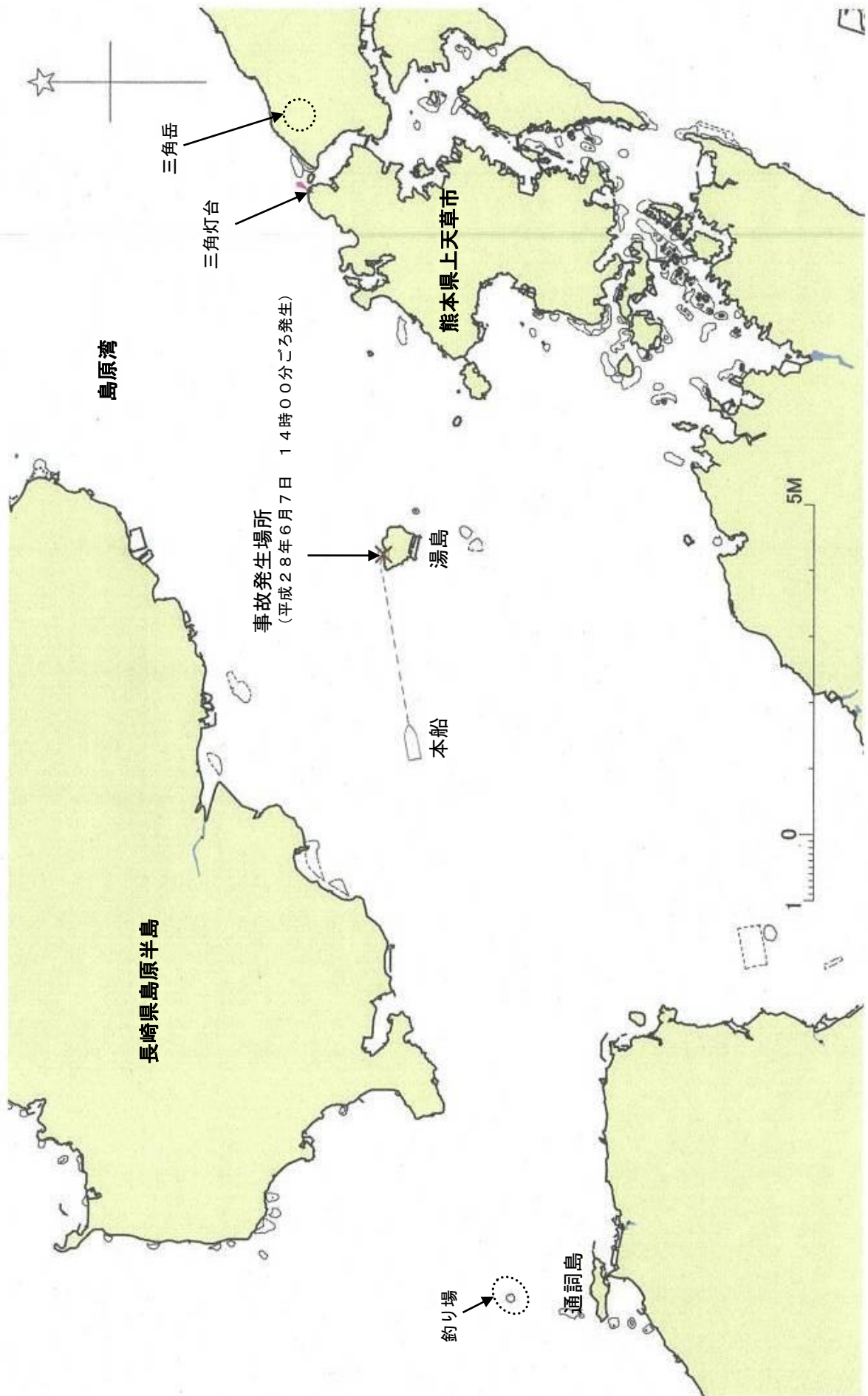


写真1 本船の損傷状況（右舷側）



損傷箇所

写真2 本船の損傷状況（船尾側）



損傷箇所